



# 味酒小だより

第6号

令和7年11月25日

## プログラミング的思考って??

情報教育主任

「プログラミング教育」と聞くと、コードを書いて難しい操作をする授業を想像されるかもしれません。コードの習熟そのものではなく、日常の学びや生活に役立つ「プログラミング的思考」を育てることが小学校段階では求められています。これは、①目的に向けて物事を分ける（分解）、②どう進めるか順序を決める（手順化）、③やってみて確かめ、直す（試行錯誤・改善）、④大事な共通点に気付く（抽象化）という考え方の流れです。論理的思考が「理由付けて正しく考える力」だとすれば、プログラミング的思考は「その考えを実行可能な手順に落とし込む力」と言えます。

例えば授業では、次のように教科に関係なく、あらゆる場面で子どもたちのプログラミング的思考を育むことができます。

- ・国語科：文章の段落カードを並べ替え、「伝わりやすい順番」を話し合う。
- ・算数科：作図や計算の手順を自分の言葉で説明し、友達と確かめ合う。
- ・理科：条件を一つずつ変えて結果を比べ、「どの手順が妥当か」を検証する。
- ・社会科：みかんがスーパーマーケットに運ばれるまでの流れを簡単なフローチャートにする。
- ・家庭科：料理の段取りを考えてどのように調理すればよいか計画を立てる。

こうした経験を重ねることで、子どもたちは、計画→実行→振り返りのサイクルが当たり前となります。その経験が土台となり、結果を言葉や図で説明する力、失敗から学んで方法を再考する姿勢の育成にもつながります。

ご家庭でも、買い物の順番と一緒に考える、道順を地図に描く、翌朝の支度リストを作るなど、身近な活動が立派な実践になります。学び方の土台となる“考え方の道具”を、学校と連携しながらご家庭でも無理のない範囲で育む取組へのご協力を、ぜひお願ひします。



## 学力向上推進計画について

学力向上推進主任

愛媛県では、令和5年から7年度までの三年間を第4期学力向上推進期間とし、各小中学校で学力向上推進計画を作成し、学校教育の質の保証・向上を目指しています。そこで本校では、身に付けさせたい資質・能力を、① 確かな学力を身に付けるための学習習慣と基礎的・基本的な知識及び技能、②主体的・対話的に学び、考える力、③英語コミュニケーション能力、④自ら読書に親しむ態度とし、日々実践しています。

その中で、④自ら読書に親しむ態度の育成の具体的な取組として、図書館支援員による図書の紹介、図書委員会による活動（現在読書bingoを実施中）、全校での朝読書の時間の設定、保護者や教員による読み聞かせなどを行っています。また、今年度は、私たち教師から味酒っ子へのおすすめの本を紹介するコーナーをコモンスペースに設け、幅広い読書活動の推進を図っています。子どもたちが、たくさんよい本と出会えますように、世代を超えてすてきな物語が読み継がれていきますように、そう願っています。

## 松山市小学校総合体育大会（陸上の部）

走高跳びに出場しました。練習では、少しでも高く跳ぶように踏切り足に気を付けました。足を上げることを意識しようと友達と話し合い、互いの記録を伸ばそうと頑張りました。大会の本番では、いろいろな学校の友達と競うことができて楽しかったです。

6年 T. S

ぼくは、男子100mの選手として、腕を振る練習など、本番まで努力してきました。競技場では、アップの時にとても走りやすいので感動しました。この競技場で走らせていただけたことに感謝の気持ちが芽生えました。目標は、13秒台でしたが、それには届きませんでした。しかし、最高の思い出ができました。

6年 T. H



## さわやか体育大会

ぼくは、玉入れがたのしかったです。かけっこで1ばんになってうれしかったです。

たんぽぽ1年 I. R



ぼくは、さわやか体育大会でがんばりました。ダンスがとても楽しかったです。

たんぽぽ4年 A. A

わたしは、さわやかたいいく大きいに、はじめてでした。たくさん的人がいました。1ばんのしかったのは、たま入れでした。

たんぽぽ1年 Y. H



## 愛媛県小学校陸上運動記録会

100m走に出場しました。市総体の時よりも速いタイムを出すことが目標でした。本番ではよいスタートができて、市総体の時よりも速いタイムを出せてよかったです。そして、1位を取ることができてうれしかったです。

6年 N. K

60mハードルに出場し、5位に入賞しました。本番までは、緊張していましたが、自分の持てる力を精一杯出し切ることができました。練習の時から気を付けていたスタートもうまくできました。よい結果で終わることができてよかったです。

6年 N.Y

